

NEXTIT



薬局における疾患啓発と相談機能 に関する薬剤師と患者のギャップ調査

ダイジェスト

株式会社ネグジット総研
株式会社QLife
2011年1月

調査概要

調査名 薬局における疾患啓発と相談機能に関する薬剤師と患者の意識調査

調査実施期間: 2010年11月5日～19日

調査方法: WEBアンケート

調査サンプル数:

> 患者(定期的に通院している一般生活者) : 500名

> 保険薬局勤務薬剤師 : 200名

患者（定期的に通院している一般生活者）500名の回答者属性

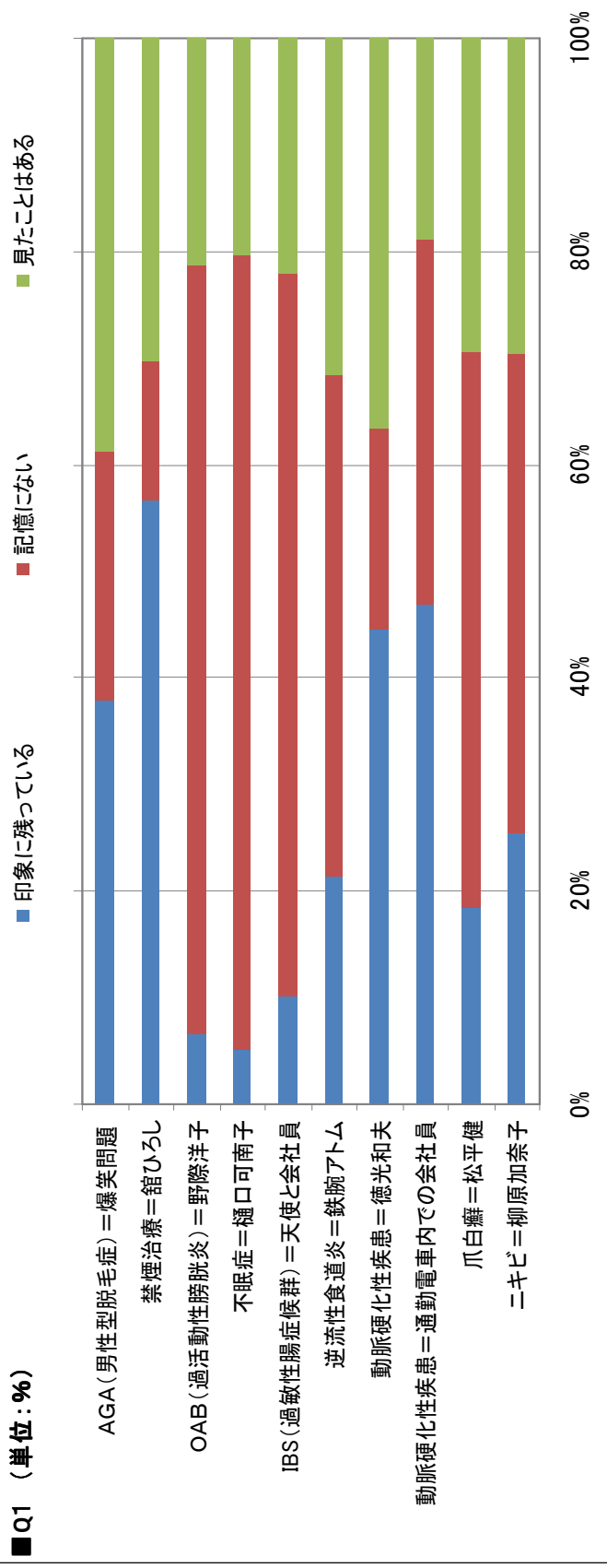
■性別

ID	カテゴリ	回答数	割合
1	女性	223	44.6%
2	男性	277	55.4%
総計		500	100.0%

■年代

ID	カテゴリ	回答数	割合
1	10代	1	0.2%
2	20代	10	2.0%
3	30代	92	18.4%
4	40代	159	31.8%
5	50代	144	28.8%
6	60代	66	13.2%
7	70代	26	5.2%
8	80代	2	0.4%
総計		500	100.0%

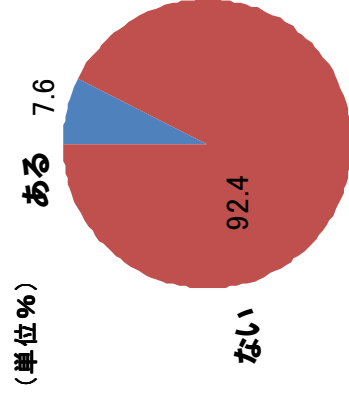
1.DTC テレビCMの認知度



カテゴリー	印象に残っている		記憶がない		見たことはない		計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
AGA (男性型脱毛症) = 爆笑問題	189	37.8	117	23.4	194	38.8	500
禁煙治療 = 館ひろし	283	56.6	65	13	152	30.4	500
OAB (過活動性膀胱炎) = 野際洋子	33	6.6	360	72	107	21.4	500
不眠症 = 樋口可南子	26	5.2	372	74.4	102	20.4	500
IBS (過敏性腸症候群) = 天使と会社員	51	10.2	339	67.8	110	22	500
逆流性食道炎 = 鉄腕アトム	107	21.4	235	47	158	31.6	500
動脈硬化性疾患 = 徳光和夫	222	44.4	95	19	183	36.6	500
動脈硬化性疾患 = 通勤電車内の会社員	234	46.8	171	34.2	95	19	500
爪白癬 = 松平健	92	18.4	261	52.2	147	29.4	500
ニキビ = 柳原加奈子	127	25.4	225	45	148	29.6	500

2. 薬局、薬剤師に対する相談窓口としての期待

Q2. テレビ(番組、コマーシャル)、健康関連の雑誌、インターネットなどから知り得た疾患に関する情報について薬局、薬剤師に問い合わせ・相談したことがありますか？



薬剤師200名の回答者属性

F1 1ヶ月応需処方せん枚数 (SA)

ID	カテゴリ	N	%
1	500枚未満	20	10.0
2	500～1,000枚未満	45	22.5
3	1,000～1,500枚未満	43	21.5
4	1,500～2,000枚未満	41	20.5
5	2,000枚以上	51	25.5
	全体	200	100.0

F2 薬局形態 (SA)

ID	カテゴリ	N	%
1	101店舗以上のチェーン薬局	18	9.0
2	51～100店舗以下のチェーン薬局	9	4.5
3	31～50店舗以下のチェーン薬局	11	5.5
4	21～30店舗以下のチェーン薬局	14	7.0
5	11～20店舗以下のチェーン薬局	18	9.0
6	6～10店舗以下のチェーン薬局	31	15.5
7	2～5店舗以下のチェーン薬局	58	29.0
8	単店	41	20.5
	全体	200	100.0

F3 薬局の立地状況 (SA)

ID	カテゴリ	N	%
1	病院門前薬局-調剤基本料24点	11	5.5
2	病院門前薬局-調剤基本料40点	50	25.0
3	診療所門前薬局-調剤基本料24点	14	7.0
4	診療所門前薬局-調剤基本料40点	94	47.0
5	医療ビル・ビルの中の薬局-調剤基本料24点	0	0.0
6	医療ビル・ビルの中の薬局-調剤基本料40点	9	4.5
7	上記以外その他	22	11.0
	全体	200	100.0

1. 受診勧奨

Q1. 患者さんとの対話（健康相談、症状などの話題）から本人及びその家族の方に対して医師への受診を勧めたことがありますか？

■ Q1（単位：％）

